

図画工作科学習指導案

福山市立久松台小学校 岡 本 真由美

1 学 年 第2学年

2 題材名 そうぞうしてかこう「○○へやってきたくじら」

3 題材設定の理由

- 本題材は、指導者が物語を作り、その物語の続きを児童自身の想像によって展開させるものである。

低学年の児童は、豊かな想像力を持ち、自分の描いた世界に夢を広げ、その世界に遊ぶのが好きな時期である。想像したことを描きながら、さらに思いついたことを次々に描いていくことができ、直感的な表現活動ができる発達段階に合った題材である。今回は、「海にすむくじらが、あるきっかけでほかの世界に興味を持ち、冒険に出かけることにしました。」というお話の続きを展開させる。児童にとって、くじらは形も単純で親しみやすい生き物である。また、くじらの主人公の気持ちを考えることや、どこへ冒険に出かけるかによって場所の設定が明確にできるとともに、一人一人の違ったお話の展開を導くことができる。

- 本学級の大半の児童（30名）が絵を描くことが好きである。お話の絵など、想像して描くことに対しては、80%ほど（25名）の児童が好きと答えており、想像すること自体を楽しんでいる。一方、7名の児童が、想像しても思いつかない、思いついてもうまく表現できないという意識を持っている。2年生という発達段階では、自分の表現に没頭する傾向が強く、友達の表現になかなか目が向かない実態であるが、発想や表現の幅を広げたり自分や友達の表現のよさに気付いたりできるように、制作過程において、自他の作品を交流する時間を位置づけている。このことで、「見せ合ったり、まねしたりできておもしろくなる」などと、制作への抵抗感は少なくなってきた。

また、自己決定場面がある題材を考えてきたことで、表現内容、材料、表現方法を自分なりの表現をしようとする姿勢は育ちつつある。

制作の節目に、自分の制作過程を振り返る場を設定し、自分の工夫したことを中心に、したことを振り返り感想を持つようにしている。最近「この次にはこうしてみよう。」「こうしたらもっとよくなるかな。」のように、先を見通す児童もでてきている。

- 指導に当たっては、児童が絵の具遊びをしていて気付いた暖かい感じ（暖色）・冷たく涼しい感じ（寒色）に着目し、ぼかしの技法やマブリングによる画用紙作りをさせる。また、児童が安心して発想を広げられるように、くじらについて調べる活動を取り入れ、くじらの特徴やおもしろさなどに関心を持たせておく。そして、発想が広がり表現したくなる導入やお話の設定を工夫する。次に、場面のイメージを用紙を選択する方法で膨らませたり、描画材の違いを感じ取らせて、自分の思いに合った表現をさせていく。具体的には、用紙（色の違うもの、ぼかし・マブリングによる画用紙作りをしたもの）や描画材（フェルトペン、クレパス、コンテパステル）を複数のものから選択し、自己決定できるようにする。制作の途中で交流の場を作ることで、自分の表現に自信を持てたり、表現に広がりができるようにしていく。そして、制作への思いを聞き取ったり読み取ったりして、肯定的評価をしながら一人一人に、意欲面・表現内容・表現技法などの支援をしていく。最後にふりかえりカードを書く場を設定し、本時の制作を振り返り感想を持つようにする。指導者はふりかえりカードを読み取ることで、児童の制作への思いをつかみ授業の反省をし、次時の支援を計画していく。

4 指導目標

- お話の続きを豊かに想像し、楽しみながら描かせる。（造形への関心・意欲・態度）
- 聞いたことをもとに、想像力を働かせ、表したいことを見付けさせる。（発想や構想の能力）
- 表したいことのイメージに合わせて用紙を選ばせ、フェルトペン、クレパス、コンテパステルなどで表現させる。（創造的な技能）

- 自分の作品を振り返ったり，友達と交流することで，自他の表現のよさに気付かせる。
(鑑賞の能力)

5 本時の目標

- お話の続きを豊かに想像し，自分の想像した世界（様子）を用紙を選び，描画材の違いを感じ取りながら工夫して表現する。

6 準備物

児童（画板，ぼかし・マープリング遊びをした画用紙，フェルトペン〔油性〕，クレパス，コンテバステル）

教師（自作のお話を書いた模造紙，複数の色の色画用紙など）

7 学習指導計画（全4時間）

次	時	児童の活動の流れ	予想される活動	支援 ●	評価
1	1	お気に入りの画用紙をつくろう パート （ぼかし） ○ あたたかい感じ（暖色）又は，冷たくすずしい感じ（寒色）の絵の具を選ぶ。 ・ 赤やだいたい色や黄色は暖かい感じがするよ。 ・ 青や緑は涼しい感じだな。 ○ ぼかしの技法で画用紙に着色する。 ○ 画用紙に名前を付け，気に入ったところをアピールする。 ○ お互いの画用紙を交流する。			造形への関心・意欲・態度 ● 色との出会いを絵の具遊びから感じた色との出会いを生かす。 色との新たな出会いや発見することに関心を持てたか。 発想や構想の能力 ● 色の特徴を話させながら，着色させる。 色の特徴（暖色・寒色）に気付き，ぼかしのおもしろさを感じながら画用紙作りをしているか。 創造的な技能 ● 水の含ませ方によって，着色のかんじに違いが出ることをつかませる。 水の含ませかたや，偶然できたにじみなどを感じ取りながら画用紙作りができたか。 鑑賞の能力 ● 自分の作品に名前を付けさせたり，友達の作品を見ることで，色やぼかしの持つ雰囲気を感じ取らせる。 色やぼかしから，そのおもしろさや美しさを感じ取ることができたか。
	1	お気に入りの画用紙をつくろう パート （マープリング） ○ 絵の具の色を選択し，色と水の混ぜ方を工夫して画用紙を作る。 色について ・ 暖かい感じの色と寒い感じの色とをいっしょに使うとどうなるかな。 ・ やさしい感じにしたい。 ・ 力強い感じにしたい。			造形への関心・意欲・態度 ● マープリングの技法のおもしろさに関心を持つ。 マープリングをしてみたいという気持ちを持てたか。 発想や構想の能力 ● マープリングによる色の混ざり合いが，さまざまであることに気付かせる。

		混ぜ方について ・ ぐるぐる回った感じがいいな。 ・ このへんは赤っぽくて、このへんは青っぽくしたいよ。 ・ ギザギザにしてみたい。 ○ 画用紙に名前を付け、気に入ったところをアピールする。 ○ お互いの画用紙を交流する。	マーブリングの特徴を生かし、回したり揺らしたりしていろいろな工夫を考えられたか。 創造的な技能 ● 色が混ざっていくおもしろさ、偶然性などを楽しみせながら、色や混ぜ方の工夫をさせる。 絵の具の落とししかたや混ぜ方によっていろいろな表現ができることに気づき、試せたか。 鑑賞の能力 ● 自分の作品に名前を付けさせたり、友達の作品を見ることで、マーブリングの持つ雰囲気を感じ取らせる。 マーブリングのおもしろさや美しさを話したり、書いたりできたか。
2	1 本時	お話の続きをそうぞうして絵にかこう ○ お話の続きを考える。 主人公について ・ くじらは友達がいっぱいほしいんだよ。 ・ 海とはちがうところを見たくてたまらなかったんだよ。 ・ 初めてのところへ行くってわくわくするよ。 ・ わんぱくなくじらだよ。 世界（場所）について ・ にぎやかな町へ行ったと思うよ。 ・ 今と反対の暖かいところだと思うよ。 ・ ぐうぜん高い山のてっぺんに着いたよ。 ・ こんなものが見えるよ。 ・ こんな音が聞こえるよ。 ○ くじらが行ってみたいになった世界のイメージにあった用紙を選ぶ。 ・ 暖かい世界だから暖かい感じの色がいいな。 ・ 山の上だから涼しい感じの色を選ぶよ。 ・ 色が混じっていて楽しくなるのがいいな。 ・ 宇宙だからマーブリングの紙がいいよ。 ○ お話の続きをえがく。	造形への関心・意欲・態度 ● 発想の広がる導入のお話を提示する。 題材との出会いに関心を持つことができたか。 発想や構想の能力について ● 発想を膨らませる観点を提示する。 ・ 主人公に関して 性格 そのときの気持ち ・ 世界（場所）に関して 寒さ，暖かさ 海，山，川，町，砂漠，宇宙など 見えるもの 聞こえてくる音 感じたことや想像したことをもとに，表したいことを見つけることができたか。 創造的な技能について ● 世界（場所）のイメージにあった画用紙を選択させる。 ・ 暖かい場所，寒い場所 ・ 海，山，川，町，砂漠，宇宙など ● 複数のタイプの用紙を用意する。 ・ 色画用紙・白い画用紙・奉書紙 ・ 絵の具遊びをした画用紙，奉書紙 ● 描画材を自分で決めさせる。 ・ フェルトペン，クレパス，パステル 表したいことに合った用紙や描画材を自己決定できたか。 ● 続きのお話を聞き，観点を振り返らせながら個々に支援する。

	・ 山へ行ってみたくなったよ。木の上に乗っかって鳥と友達になったよ。高い木を描くよ。 ・ 暖かい国へ行ったよ。太陽の光がまぶしいよ。おもしろい動物もたくさんいるよ。 ・ 町へ迷い込んだよ。高いビルやたくさんの人にびっくりしたんだ。ビルや人をいっぱい描くよ。 ・ マジック（油性）で描いたら，色もぬりたいな。 ・ コンテも使ってみたいな。 ○ 表現過程を交流する。 ・ いろんな動物に出会ったら楽しいね。 ・ こんなところにたどり着いたとはおもしろい。 ○ 今日の学習を振り返り，描いたお話の内容を書き留める。	・ 主人公に関することのイメージ ・ 世界（場所）の設定 ・ 高さ・大きさ・数などを意識させる。表したいことを考えたり，考えながら表したりして，描画材の違いを感じ取りながら工夫して表現できたか。 鑑賞の能力について ● 作品のよさや作品への思いを交流させ，自分の表現に取り入れられる言葉かけをする。 自分の作品を見せたり，友達の表したかったことを聞いたりして，自分の表現に自信を持ったり生かしたりできたか。 自己評価について ● ふりかえりカードで振り返る観点を示す。 ・ 意欲面（４段階評定尺度法） ・ 交流が生きたか（４段階評定尺度法） ・ 描いたお話を書き留める（文章記述）
1	○ ふりかえりカードを確認する。 ・ どんなお話だったかな。 ・ 今日はこんなことを描いてみよう。 ○ お話の続きを描く。 < お話をふくらませる > ・ もっとくじらをいっぱい描いたら楽しい感じになるよ。 ・ 赤ちゃんくじらもついてきたよ。 ・ 草原を走っていたら，カンガルーに出会ったんだ。 ・ こわいライオンにも出会ったよ。 < 描画材の特性を生かす > ・ コンテで明るい空にしてみよう。 ・ クレパスでライオンのたてがみをしっかり描くよ。 ○ 今回の学習を振り返り，自己評価する。	造形への関心・意欲・態度について ● 前時に描いたこと，描こうとしたことを想起させ，本時への意欲を持たせる。前時を振り返り，続きを描きたいという気持ちを持てたか。 発想や構想の能力について ● 続きのお話を聞き，観点を振り返らせながら個々に支援する。 ・ 主人公に関することのイメージ ・ 世界（場所）の設定 ・ 高さ・大きさ・数などを意識させる。前時にしたことを思いだし，本時に表したいことが見つかったか。 創造的な技能について ● 描画材の特性を知らせながら，表したいことを実現させるようにする。 表したいことに合わせて，描画材の特性を生かした表現ができたか。 自己評価について ● ふりかえりカードで振り返る観点を示す。 ・ 意欲面（４段階評定法） ・ 自己決定できたか（４段階評定尺度法） ・ 交流が生きたか（４段階評定尺度法） ・ じまんしたいこと（自由記述）

				自分の表現したことを振り返り感想を持てたか。
--	--	--	--	------------------------